

令和8（2026）年度
入学試験問題
（7月入試）

一 般

専 門 科 目

受 験 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで試験問題を開いてはいけません。
2. 受験者は、すべて試験監督員の指示に従ってください。
3. 試験時間内の退室はできません。
4. 解答用紙のみ提出してください。
5. 試験時間は60分です。

（会計専門職研究科）

会計専門職研究科
令和 8 (2026) 年度入学試験問題 (7 月入試)
【 簿 記 】

【1】 下記の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も相当と思われるものを選ぶこと。なお、各取引に関連はない。

1. 当社は、A 社より商品 500,000 円を仕入れた。代金のうち 300,000 円については、得意先振出しの小切手 300,000 円を譲渡し、残額は掛けとした。なお、記帳方法は、商品の販売のつど商品勘定から売上原価勘定に振り替える方法による。

現金	当座預金	受取手形	支払手形	仕入	繰越商品	売上原価	商品
----	------	------	------	----	------	------	----

2. 当社は、当期中に 2 回に分けて B 社の株式を売買目的で購入した。1 回目は 1 株 1,200 円で 400 株を、2 回目は 1 株 1,500 円で 200 株を購入している。本日、B 社株式 600 株のうち 500 株を 1 株 1,400 円で売却し、代金は現金で受け取った。このときの仕訳を示しなさい。なお、当期中の購入分以外に B 社株式は保有しておらず、株式の 1 株あたりの単価は総平均法で計算している。

現金	当座預金	売買目的有価証券	満期保有目的債券	その他有価証券	有価証券評価益
有価証券売却益	有価証券利息				

3. 建物の工事代金 1,000,000 円を小切手を振り出して支払った。この工事は完了しており、1,000,000 円のうち 300,000 円は定期的な修繕のための支出であり、残りは耐用年数延長のための支出である。

現金	当座預金	建物	建設仮勘定	建物減価償却累計額	減価償却費	修繕費	構築物
----	------	----	-------	-----------	-------	-----	-----

4. 12 月末日、満期まで保有する目的で C 社の社債（額面総額 500,000 円、利率年 0.24%、利払日は 3 月末と 9 月末の年 2 回）を額面 100 円につき 98.50 円の裸相場で購入し、代金は売買手数料 10,000 円と、前回の利払日の翌日から売買日当日までの端数利息を含め小切手を振り出して支払った。端数利息は月割計算する。

当座預金	普通預金	売買目的有価証券	満期保有目的債券	その他有価証券	支払手数料
支払利息	有価証券利息				

5. 従業員の退職時に支払う退職一時金の給付は内部積立方式により行ってきたが、従業員が退職することとなり、退職一時金として 1,500,000 円を現金で支払った。なお、当該従業員に対する退職給付金引当金は 1,500,000 円であった。

現金	普通預金	当座預金	退職給付費用	給料	賞与	退職給付引当金	賞与引当金
----	------	------	--------	----	----	---------	-------

会計専門職研究科
令和 8 (2026) 年度入学試験問題 (7 月入試)
【 簿 記 】

6. 当社は、米国の D 社より商品 5,000 ドルを仕入れた。この商品については、注文時に手付金として 2,000 ドルを現金で支払っており、残額は月末に支払う予定である。なお、商品仕入時の為替相場は 1 ドル 143 円、手付金支払時の為替相場 1 ドル 148 円であり、為替予約は締結していない。

仕入	買掛金	未払金	前払金	仮払金	為替差損益	前受金	現金
----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	----

7. 決算において、納付すべき消費税の額を算定したところ 160,000 円であった。なお、本年度の消費税の仮払額は 440,000 円、仮受額は 600,000 円であり、税抜方式を採用している。

仮払消費税等 立替金	仮払法人税等 租税公課	仮受消費税等	未払消費税等	未払法人税等	預り金
---------------	----------------	--------	--------	--------	-----

8. 株主総会において繰越利益剰余金 2,500,000 円を財源として、次のとおり処分することが承認された。なお、株主総会時における資本金は 10,000,000 円、資本準備金は 2,000,000 円、利益準備金は 470,000 円であり、発行済株式数は 5,000 株である。

株主配当金：1 株あたり 300 円
利益準備金：会社法で定める最低金額
別途積立金：200,000 円

現金	未払配当金	資本金	資本準備金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	損益
----	-------	-----	-------	-------	-------	---------	----

9. 給料から控除した社会保険料の従業員負担分 456,000 円を、当社負担分と合わせて年金事務所にて現金で支払った。なお、当社は社会保険料を従業員と同額負担している。

現金	普通預金	従業員立替金	社会保険料預り金	法定福利費	租税公課	給料	雑費
----	------	--------	----------	-------	------	----	----

10. ビルの 1 フロアについて賃借契約を締結した。その際、敷金 (家賃の支払い額 2 か月分)、3 か月分の家賃 1,200,000 円、仲介手数料 100,000 円を普通預金口座から支払った。

普通預金	当座預金	支払手数料	支払家賃	建物	差入保証金	仮払金	未払金
------	------	-------	------	----	-------	-----	-----

会計専門職研究科
令和 8 (2026) 年度入学試験問題 (7 月入試)
【 簿 記 】

- 【2】** [資料] にもとづいて、解答用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は×4年4月1日から×5年3月31日までの1年間である。

[資料] 決算整理事項およびその他の修正事項

- 得意先が倒産し、売掛金 150,000 円が回収不能になったことが判明したので、貸倒れとして処理する。なお、この金額のうち 80,000 円は前期末までに発生したものであり、残額は当期中に発生したものである。
- 当座預金口座の残高を銀行に問い合わせたところ 1,390,000 円であった。当座預金勘定の残高との差異の原因を調べたところ、以下の事実が判明した。
 - 銀行の営業時間外の入金が 150,000 円あった。
 - 買掛金支払いのため振り出した小切手 75,000 円が銀行に未呈示であった。
 - 受取手形 90,000 円の当座預金口座への振り込みが当社に未達であった。
 - 買掛金支払いのため振り出した小切手 124,000 円が、まだ金庫に保管されていた。
- 売上債権の期末残高に対し 3%の貸倒引当金を見積る。差額補充法により処理すること。
- 期末商品棚卸高は以下のとおりである。なお、売上原価の計算は仕入勘定で行い、棚卸減耗損および商品評価損は独立の項目として処理する。

	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	単価 (原価)	正味売却価額
商品 A	790 個	750 個	@530 円	@510 円
商品 B	410 個	390 個	@750 円	@790 円

(注) 商品 B のうち 20 個は品質低下を原因とする収益性の低下が発生しており、その正味売却価額は@250 円である。

- 売買目的有価証券の内訳は以下のとおりである。なお、当社は切放方式を採用している。

	保有株式数	前期末時価	当期末時価
X 社株式	2,000 株	1 株 1,150 円	1 株 1,200 円
Y 社株式	3,000 株	1 株 1,310 円	1 株 1,280 円

- 固定資産の減価償却を以下のとおり行う。
 - 建物：耐用年数は 40 年、残存価額は取得原価の 10%、定額法により計算する。
 - 備品：償却率を年 25%として、定率法により計算する。なお、備品（取得原価 480,000 円、期首減価償却累計額 210,000 円）を当期首に 240,000 円で売却し、小切手（売却先振出し）を受け取っていたが未処理である。
- 保険料は当期の 12 月 1 日に向こう 1 年分の保険料を一括して支払ったものである。
- 地代は過去 1 年分として毎年同額を 12 月末に一括して支払っている。

受験番号					

※ 氏名は記入しないこと!

解答用紙 (専門科目)

【簿記】

評 点	/ 100
--------	-------

熊本学園大学大学院
会計専門職研究科

【1】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

受験番号					

※ 氏名は記入しないこと!

解答用紙 (専門科目)

【簿記】

熊本学園大学大学院
会計専門職研究科

【2】

精 算 表

×5年3月31日

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	3,519,000							
当座預金	1,251,000							
受取手形	4,530,000							
売掛金	1,050,000							
売買目的有価証券	6,230,000							
繰越商品	594,000							
建物	3,600,000							
備品	1,080,000							
支払手形		3,578,400						
買掛金		2,556,000						
貸倒引当金		114,000						
建物減価償却累計額		810,000						
備品減価償却累計額		360,000						
資本金		10,528,800						
利益準備金		867,000						
別途積立金		1,320,000						
繰越利益剰余金		144,000						
売上		4,487,100						
受取手数料		523,500						
仕入	2,954,600							
給料	464,000							
保険料	10,800							
支払地代	5,400							
	25,288,800	25,288,800						
()								
貸倒引当金繰入								
棚卸減耗損								
商品評価損								
有価証券評価()								
固定資産売却()								
減価償却費								
前払()								
未払()								
当期純()								